

中学校道徳 調査研究報告書

書名 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
		2・東書	第1学年 第2学年 第3学年	道徳 721 道徳 821 道徳 921
取扱内容	<p>○ 生命の尊厳については、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることができるようになっている。例えば、第2学年においては、生命を大切にするために、どのような気持ちが必要かや生命の尊さを心に刻んで生きていくためには、どのような気持ちが必要かを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、友情を育てていく上で、大切にしなければいけないことは何かを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 自然については、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じることができるようになっている。例えば、第2学年においては、野生の生き物などを含め、自然とどのように関わっていくことが大切かを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 伝統と文化については、有形無形の美しさに国や郷土への誇り、愛情を感じることができるようになっている。例えば、第2学年においては、郷土のために自分ができることは、どのようなことかを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 情報化への対応については、単に情報機器の操作や活用など、その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間であるからこそ、例えば「節度、節制」や「自主、自律、自由と責任」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになっている。例えば、第2学年においては、メッセージアプリを扱い、友達との友情を育てていく上で大切にしなければいけないことは、どのようなことかを話し合う活動を取り上げている。</p>			
内容の構成・排列、分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動については、各学年に、「話し合いの手引き」や「つぶやきコーナー」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などをはぐくむことができるように工夫されている。 ・問題解決的な学習については、各学年に、教材冒頭の問題提起から解決を図る「考えてみよう」を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるように工夫されている。 ・体験的な学習については、各学年に、役割演技による学習を示した「アクション」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深め分るように工夫されている。 <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>※Aは「主として自分自身に関すること」、Bは「主として人との関わりに関すること」、Cは「主として集団や社会との関わりに関すること」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」、Eは「複数の内容項目が含まれている教材等」を表す。例えば、第2学年においては、Aは7教材、Bは8教材、Cは15教材、Dは11教材、Eは4教材、全体で45教材であり、総ページ数は189ページとなっている。(判型はA B判)</p>			
使用上の配慮等	<p>○ 自らを振り返るための工夫については、各学年に、学期ごとに学習の記録を残すことができる「自分の学びをふり返ろう」を配置し、自らの道徳的成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりすることができるようになっている。</p> <p>○ 家庭や地域との連携を深めるための工夫については、各学年に、自分が住む地域について考えるきっかけとなる「郷土のことを考える」を配置し、家庭や地域社会との共通理解を深めることができるようになっている。</p> <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の学習の進め方を示すページを設けている。 ・全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインなどが採用されている。 			
その他				

中学校道徳 調査研究報告書

書名 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	11・学校図書	第1学年 第2学年 第3学年	道徳 722 道徳 822 道徳 922	輝け 未来 中学校道徳1年 輝け 未来 中学校道徳2年 輝け 未来 中学校道徳3年
取扱内容	<p>○ 生命の尊厳については、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることができるようになっている。例えば、第2学年においては、命を輝かせて生きるために、どのようなことを大切にしたいかや家族や友達、周囲の人たちの命について、どのようなことを感じるかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、いじめやけんかをやめさせたり注意したりすることができないのは、なぜかを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 自然については、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じるできるようになっている。例えば、第2学年においては、身の回りの自然に対して、どのようなことを忘れずに思い続けていきたいかを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 伝統と文化については、有形無形の美しさに国や郷土への誇り、愛情を感じるできるようになっている。例えば、第2学年においては、自分が将来に向けて、残していきたいと思う郷土の文化や産業には、どのようなものがあるかを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 情報化への対応については、単に情報機器の操作や活用など、その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間であるからこそ、例えば「節度、節制」や「自主、自律、自由と責任」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになっている。例えば、第2学年においては、インターネットを扱い、相手や自分に誠実であるために、インターネット上のやりとりで、どのような心構えが必要かを話し合う活動を取り上げている。</p>			
内容の構成・排列、分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動については、各学年に、様々な見方や考え方を出し合ったり、話し合ったりする「学びに向かうために」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などをはぐくむことができるように工夫されている。 ・問題解決的な学習については、各学年に、道徳的問題について考えを出し合う教材を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるように工夫されている。 ・体験的な学習については、各学年に、役割演技による学習を用いた教材を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。 <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>※Aは「主として自分自身に関すること」、Bは「主として人との関わりに関すること」、Cは「主として集団や社会との関わりに関すること」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」、Eは「複数の内容項目が含まれている教材等」を表す。例えば、第2学年においては、Aは7教材、Bは6教材、Cは16教材、Dは6教材、Eは8教材、全体で43教材であり、総ページ数は228ページとなっている。(判型はA B判)</p>			
使用上の配慮等	<p>○ 自らを振り返るための工夫については、各学年に、「一年間の振り返り」や教材ごとの「学びの記録」を配置し、自らの道徳的成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりすることができるようになっている。</p> <p>○ 家庭や地域との連携を深めるための工夫については、各学年に、家庭教育との連携を図ることを目的とした「保護者の方へ」や「さあ、楽しい夏休み！」を配置し、家庭や地域社会との共通理解を深めることができるようになっている。</p> <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の学習の進め方を示すページを設けている。 ・全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインなどが採用されている。 			
その他				

中学校道徳 調査研究報告書

書名 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	17・教出	第1学年 第2学年 第3学年	道徳 723 道徳 823 道徳 923	中学道徳 1 とびだそう未来へ 中学道徳 2 とびだそう未来へ 中学道徳 3 とびだそう未来へ
取扱内容	<p>○ 生命の尊厳については、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることができるようになっている。例えば、第2学年においては、精一杯生きるとはどのように生きることかや、命を大切にするとどのようなことかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、いじめや差別のない社会をつくるためには、どのようなことが必要かを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 自然については、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じることができるようになっている。例えば、第2学年においては、自分にできる環境保護には、どのようなことがあるかを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 伝統と文化については、有形無形の美しさに国や郷土への誇り、愛情を感じることができるようになっている。例えば、第2学年においては、郷土の伝統を守るために、自分にはどのようなことができるかを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 情報化への対応については、単に情報機器の操作や活用など、その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間であるからこそ、例えば「節度、節制」や「自主、自律、自由と責任」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになっている。例えば、第2学年においては、SNSを扱い、よりよく使っていくことで、どのようなことが得られるかを話し合う活動を取り上げている。</p>			
内容の構成・排列、分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動については、各学年に、自分の考えを基に話し合う「学びの道しるべ」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などをはぐくむことができるように工夫されている。 ・問題解決的な学習については、各学年に、異なる立場からの考えを取り上げた教材を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるように工夫されている。 ・体験的な学習については、各学年に、役割演技による学習を示した「やってみよう」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。 <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>※Aは「主として自分自身に関すること」、Bは「主として人との関わりに関すること」、Cは「主として集団や社会との関わりに関すること」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」、Eは「複数の内容項目が含まれている教材等」を表す。例えば、第2学年においては、Aは7教材、Bは7教材、Cは17教材、Dは5教材、Eは3教材、全体で39教材であり、総ページ数は178ページとなっている。(判型はB5判)</p>			
使用上の配慮等	<p>○ 自らを振り返るための工夫については、各学年に「道徳の学びを記録しよう」や課題や目標を記入する「どんな〇年生になりたいか」、「そして、未来へ……」を配置し、自らの道徳的成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりすることができるようになっている。</p> <p>○ 家庭や地域との連携を深めるための工夫については、各学年に、道徳の学習と家庭をつなぐ「家の人から」を配置し、家庭や地域社会との共通理解を深めることができるようになっている。</p> <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の学習の進め方を示すページを設けている。 ・全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインなどが採用されている。 			
その他				

中学校道徳 調査研究報告書

書名 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
		28・光村	第1学年 第2学年 第3学年	道徳 724 道徳 824 道徳 924
取扱内容	<p>○ 生命の尊厳については、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることができるようになっている。例えば、第2学年においては、生きていけると感じることは、どのようなときかや命とは、どのようなものかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、周りの人の善意に支えられていると感じるのは、どのようなときかを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 自然については、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じるできるようになっている。例えば、第2学年においては、美しい自然を守るために大切なことは、どのようなことかを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 伝統と文化については、有形無形の美しさに国や郷土への誇り、愛情を感じるできるようになっている。例えば、第2学年においては、郷土の伝統や文化を守り、発展させるためには、どのようなことができるかを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 情報化への対応については、単に情報機器の操作や活用など、その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間であるからこそ、例えば「節度、節制」や「自主、自律、自由と責任」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになっている。例えば、第2学年においては、携帯電話やスマートフォンを扱い、上手に利用していくためには、どのようなことを心がけるとよいかを話し合う活動を取り上げている。</p>			
内容の構成・排列、分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動については、各学年に、考え、話し合うことを中心に据えた「てびき『学びのテーマ』」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などをはぐくむことができるように工夫されている。 ・問題解決的な学習については、各学年に、問題を解決するための発問「考える観点」を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるように工夫されている。 ・体験的な学習については、各学年に、道徳的行為に関する体験的な学習を示した「人と人との関係づくり」を配置し、体験的的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。 <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>※Aは「主として自分自身に関すること」、Bは「主として人との関わりに関すること」、Cは「主として集団や社会との関わりに関すること」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」、Eは「複数の内容項目が含まれている教材等」を表す。例えば、第2学年においては、Aは9教材、Bは9教材、Cは12教材、Dは7教材、Eは16教材、全体で53教材であり、総ページ数は224ページとなっている。(判型はB5判)</p>			
使用上の配慮等	<p>○ 自らを振り返るための工夫については、各学年に、教材ごとに記入する「私の気づき」や、シーズンごとの記録を残す「学びの記録」を配置し、自らの道徳的成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりすることができるようになっている。</p> <p>○ 家庭や地域との連携を深めるための工夫については、各学年に、生徒が家庭での話し合いにつながるコラムを配置し、家庭や地域社会との共通理解を深めることができるようになっている。</p> <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の学習の進め方を示すページを設けている。 ・全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインなどが採用されている。 			
その他				

中学校道徳 調査研究報告書

書名 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	116・日文	第1学年 第2学年 第3学年	道徳 725、道徳 726 道徳 825、道徳 826 道徳 925、道徳 926	中学道徳1 あすを生きる1、中学道徳1 あすを生きる1道徳ノート 中学道徳2 あすを生きる2、中学道徳2 あすを生きる2道徳ノート 中学道徳3 あすを生きる3、中学道徳3 あすを生きる3道徳ノート
取扱内容	<p>○ 生命の尊厳については、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることができるようになっている。例えば、第2学年においては、生命を支え合うとは、どのようなことかや生命の重さや尊さとは、どのようなことかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、差別や偏見が生まれる原因は、どのようなところにあるかを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 自然については、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じることができるようになっている。例えば、第2学年においては、自然と、どのように関わっていくことができるかを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 伝統と文化については、有形無形の美しさに国や郷土への誇り、愛情を感じることができるようになっている。例えば、第2学年においては、郷土の伝統を絶やさないために必要なことは、どのようなことかを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 情報化への対応については、単に情報機器の操作や活用など、その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間だからこそ、例えば「節度、節制」や「自主、自立、自由と責任」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになっている。例えば、第2学年においては、インターネットを扱い、メールなどでのやり取りで、自分の言葉に対する責任を持つためには、どのようなことが大切かを話し合う活動を取り上げている。</p>			
内容の構成・排列、分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動については、各学年の別冊に、自分や友達の考えを記入する欄を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などはぐくむことができるように工夫されている。 ・問題解決的な学習については、各学年に、問題をつかむ活動や考える活動を促す「学習の進め方」を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるように工夫されている。 ・体験的な学習については、各学年に、道徳的行為に関する体験的な学習を示した「学習の進め方」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。 <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>※Aは「主として自分自身に関すること」、Bは「主として人との関わりに関すること」、Cは「主として集団や社会との関わりに関すること」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」、Eは「複数の内容項目が含まれている教材等」を表す。例えば、第2学年においては、Aは7教材、Bは6教材、Cは16教材、Dは7教材、Eは17教材、全体で53教材であり、総ページ数は別冊を含め231ページとなっている。(判型はB5判)</p>			
使用上の配慮等	<p>○ 自らを振り返るための工夫については、各学年の別冊に、印象に残った学習とその理由を記入する「道徳の学習で学んだことを書いてみよう」を配置し、自らの道徳的成長を実感したり、新たな課題や目標を持ったりすることができるようになっている。</p> <p>○ 家庭や地域との連携を深めるための工夫については、各学年の別冊に、家庭や地域社会との連携による指導への配慮として「保護者記入欄」を配置し、家庭や地域社会との共通理解を深めることができるようになっている。</p> <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の学習の進め方を示すページを設けている。 ・全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインなどが採用されている。 			
その他				

中学校道徳 調査研究報告書

書名 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
		224・学研	第1学年 第2学年 第3学年	道徳 727 道徳 827 道徳 927
取扱内容	<p>○ 生命の尊厳については、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることができるようになっている。例えば、第2学年においては、一人一人の生命のつながりとは、どのようなことかや生命は遠い昔から受け継がれ、次の世代へ渡されていくとは、どのようなことかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、相手を尊重するとは、どのようなことかを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 自然については、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じることができるようになっている。例えば、第2学年においては、自然環境の課題に対して、どのようなことに取り組んでいくかを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 伝統と文化については、有形無形の美しさに国や郷土への誇り、愛情を感じることができるようになっている。例えば、第2学年においては、日本の文化や伝統を守り、受け継いでいくために大切なことは、どのようなことかを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 情報化への対応については、単に情報機器の操作や活用など、その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間であるからこそ、例えば「節度、節制」や「自主、自律、自由と責任」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになっている。例えば、第2学年においては、メールやインターネットを扱い、匿名でのコミュニケーションで大切なことは、どのようなことかを話し合う活動を取り上げている。</p>			
内容の構成・ 排列、 分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動については、各学年に、生徒が考えたことを記述する「鉛筆マーク」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などをはぐくむことができるように工夫されている。 ・問題解決的な学習については、各学年に、問題解決的な学習の道筋を紹介する「深めよう」を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるように工夫されている。 ・体験的な学習については、各学年に、役割演技による学習を示した「やってみよう」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。 <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>※Aは「主として自分自身に関すること」、Bは「主として人との関わりに関すること」、Cは「主として集団や社会との関わりに関すること」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」、Eは「複数の内容項目が含まれている教材等」を表す。例えば、第2学年においては、Aは8教材、Bは7教材、Cは12教材、Dは8教材、Eは5教材、全体で40教材であり、総ページ数は184ページとなっている。（判型はA4判）</p>			
使用上の 配慮等	<p>○ 自らを振り返るための工夫については、各学年に、成長を振り返り、課題や目標を見つける「マイプロフィール」や「心の四季」を配置し、自らの道徳的成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりすることができるようになっている。</p> <p>○ 家庭や地域との連携を深めるための工夫については、各学年に、家庭生活や地域社会に関わりのある教材を配置し、家庭や地域社会との共通理解を深めることができるようになっている。</p> <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の学習の進め方を示すページを設けている。 ・全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインなどが採用されている。 			
その他				

中学校道徳 調査研究報告書

書名 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
		232・廣あかつき	第1学年 第2学年 第3学年	道徳 728、道徳 729 道徳 828、道徳 829 道徳 928、道徳 929
取扱内容	<p>○ 生命の尊厳については、生命ある全てのものをかけがえないものとして尊重し、大切にすることができるようになっている。例えば、第2学年においては、自分自身の生命をどのように燃やし、輝かせたいかや生命の尊厳とは、どのようなことかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、もし、いじめに気が付いたら、自分はどのようにするかを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 自然については、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じることができるようになっている。例えば、第2学年においては、これから自分たち人間は、自然とどのように関わっていけばよいかを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 伝統と文化については、有形無形の美しさに国や郷土への誇り、愛情を感じることができるようになっている。例えば、第2学年においては、長く受け継がれてきた郷土の伝統や文化には、そこに住む人々のどのような思いが込められているのかを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 情報化への対応については、単に情報機器の操作や活用など、その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間であるからこそ、例えば「節度、節制」や「自主、自律、自由と責任」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになっている。例えば、第2学年においては、SNSを扱い、情報機器に振り回されないためには、どのようなことを心がけるとよいかを話し合う活動を取り上げている。</p>			
内容の構成・排列、分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動については、各学年の別冊に、感じたことや考えたことを記入する欄を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などをはぐくむことができるように工夫されている。 ・問題解決的な学習については、各学年に、問題の解決に向けて話し合うことができる教材を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるように工夫されている。 ・体験的な学習については、各学年に、役割演技による学習を用いた教材を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。 <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>※Aは「主として自分自身に関すること」、Bは「主として人との関わりに関すること」、Cは「主として集団や社会との関わりに関すること」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」、Eは「複数の内容項目が含まれている教材等」を表す。例えば、第2学年においては、Aは8教材、Bは8教材、Cは12教材、Dは10教材、Eは3教材、全体で41教材であり、総ページ数は別冊を含め222ページとなっている。(判型はA B判)</p>			
使用上の配慮等	<p>○ 自らを振り返るための工夫については、各学年の別冊に、心に残った教材やその理由を記入する「心に残っている授業の記録」を配置し、自らの道徳的成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりすることができるようになっている。</p> <p>○ 家庭や地域との連携を深めるための工夫については、各学年に、家庭や地域の人との関わりを促す教材や、別冊に、家族との交流を促す記述欄を配置し、家庭や地域社会との共通理解を深めることができるようになっている。</p> <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の学習の進め方を示すページを設けている。 ・全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインなどが採用されている。 			
その他				

中学校道徳 調査研究報告書

書名 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	233・日科	第1学年 第2学年 第3学年	道徳 730 道徳 830 道徳 930	道徳 中学校1 生き方から学ぶ 道徳 中学校2 生き方を見つめる 道徳 中学校3 生き方を創造する
取扱内容	<p>○ 生命の尊厳については、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることができるようになっている。例えば、第2学年においては、生命とは、どのようなものかや生命の尊さを守るためには、どのように考えていけばよいかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、大切なことを見失わないようにするためには、友人とどのように付き合っていくことが大切かを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 自然については、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じることができるようになっている。例えば、第2学年においては、地球の未来のためにできることは、どのようなことかを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 伝統と文化については、有形無形の美しさに国や郷土への誇り、愛情を感じることができるようになっている。例えば、第2学年においては、地域の伝統行事には、どのような意味があるのかを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 情報化への対応については、単に情報機器の操作や活用など、その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間であるからこそ、例えば「節度、節制」や「自主、自律、自由と責任」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになっている。例えば、第2学年においては、インターネットを扱い、コミュニケーションをとる上で、どのような配慮が必要かを話し合う活動を取り上げている。</p>			
内容の構成・排列、分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動については、各学年に、「考え、話し合ってみようそして、深めよう」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などをはぐくむことができるように工夫されている。 ・問題解決的な学習については、各学年に、「考え、話し合ってみようそして、深めよう」を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるように工夫されている。 ・体験的な学習については、各学年に、道徳的行為に関する体験的な学習を用いた教材を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。 <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>※Aは「主として自分自身に関すること」、Bは「主として人との関わりに関すること」、Cは「主として集団や社会との関わりに関すること」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」、Eは「複数の内容項目が含まれている教材等」を表す。例えば、第2学年においては、Aは7教材、Bは8教材、Cは15教材、Dは7教材、Eは17教材、全体で54教材であり、総ページ数は192ページとなっている。(判型はB5判)</p>			
使用上の配慮等	<p>○ 自らを振り返るための工夫については、各学年に、「〇年生の心の成長を振り返りましょう」を配置し、自らの道徳的成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりすることができるようになっている。</p> <p>○ 家庭や地域との連携を深めるための工夫については、各学年に、学校と家庭、地域社会をつなぐ「心の成長を目指して」を配置し、家庭や地域社会との共通理解を深めることができるようになっている。</p> <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の学習の進め方を示すページを設けている。 ・全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインなどが採用されている。 			
その他				